

# 芝生化プロジェクトチームの活動について

公園緑地部会では新たに芝生化プロジェクトチームを発足させ、園庭・校庭の芝生化普及に努める一方、メンバーのスキルアップを図る為に諸々の研修や実践活動をしております。  
 メンバーは公園緑地部会会員より募集をし、県土に質の高い芝を増やして行こうという思いは県内全域に広がりを見せております。それは、各地域ごとに芝生化の中心的活動をしてくれる人材、会員を作っていくというものです。  
 今回、このプロジェクトチームの活動を紹介させていただきます。

公園緑地部会 大谷正樹



日枝幼稚園の芝生化

公園緑地部会では昨年、経営研修委員会・技術研修委員会が合同で横浜市南区のお三の宮日枝幼稚園において園庭の芝生化を行いました。これについては前号で紹介させて頂きました。  
 私達が校庭芝生化の推進について国や県、またみどり協議会に対し、普及やその後の維持管理について特段の配慮をお願い致している事は会員の皆さんも周知の事と存じます。  
 要望するばかりでなく率先して自らが活動して行こうとしたこの日枝幼稚園芝生化事業が引き金となり各方面から多くの問合せを頂きました。  
 中でも、神奈川県教育委員  
 会、また、園庭については横浜市戸塚区のくすの木保育園(岩崎園長)の芝生化をティフトン419により取り組んでおります。  
 3月27日にプロジェクトメンバー21名が参加して行われた土壌調査を皮切りに、4月26日には調査結果を基に土壌改良や植付け方法の検討、5月28日には110名の園児とご父兄

会や現場での環境調査、土壌調査を行う他、施工方法の検証、適切な維持管理方法の模索など、多岐にわたる技術研修を重ね、実際に施工しながら芝生化に取り組んでおります。  
 また、園庭については横浜市戸塚区のくすの木保育園(岩崎園長)の芝生化をティフトン419により取り組んでおります。  
 3月27日にプロジェクトメンバー21名が参加して行われた土壌調査を皮切りに、4月26日には調査結果を基に土壌改良や植付け方法の検討、5月28日には110名の園児とご父兄

保育士の先生方とプロジェクトメンバー17名、そして松田県議と共に3500ポットの苗を作りました。園児に「芝生は生き物だ」という事を知ってもらおう為、このうちの1鉢を自宅に持って帰ってもらい、定植まで育てて貰う事にしました。  
 7月24日には280㎡の園庭にポット苗、ばら撒き、筋植え方式により園児たちと一緒に植栽しました。この様子は、神奈川新聞、建通新聞、タウンニュースなどでも紹介されました。  
 秋には芝生が覆われ、素足で遊べる園庭が完成します。

ご父兄の中には、自宅で育てた苗を植えたかと思うと育ち具合が気になったり、感ひとしおですと、感想を持たれていたりの方もいらっしゃいました。完成した芝生を管理サポートしていただくのが地域のメンバーであり、そのメンバーが中心となり地域の協会と共に活動していく事を目標としているのが芝生化プロジェクトチームです。  
 次号では完成したくすの木保育園の芝生園庭を紹介させていただきますと思えます。



土壌調査中 (土壌硬度)



土壌調査中 (透水試験)



報告書

## 校庭芝生化 プロジェクトチーム事業計画表 (H24.1 ~ H25.3)

		H 23 年度		H 24 年度		
		第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
調査・研究のためのモデル事業とコミュニケーションの活性化	お三の宮日枝幼稚園	害虫駆除 資料のマトメ	エアレーション・施肥	技術指導	技術指導	技術指導
	くすの木保育園 (300㎡程度)	調査・施工計画立案	ポット苗作り 植栽	維持管理 9月オープン	維持管理 サポート	維持管理 サポート
技術指導及び育成	横浜国際高校	目土散布	エアレーション (5月) 目砂・施肥	エアレーション (7月) 目砂・施肥	施肥	
	県立高校・養護学校	調査・報告 (5校)				
技術向上研修会	講習会	校庭芝生化	土壌調査方法	芝生植付	芝生管理	芝生薬剤

## 校庭芝生化プロジェクトチームメンバー

NO	支部名	会社名	氏名	NO	支部名	会社名	氏名
1	戸塚	日産クリエイティブサービス	◎大谷正樹	20	横浜南	(株)濱田園	齊藤正昭
2	港北	奈良造園土木(株)	○野村直樹	21	横浜中央	(有)細野植産	細野仁
3	湘南西	湘南造園(株)	○岡田茂樹	22	横浜中央	(株)大匠緑化建設	内田悟史
4	保土ヶ谷	ニホンターフメンテナンズ(株)	○平野英四郎	23	横浜南	(株)港南植木ガーデン	笠原章
5	港北	(有)ヨネヤマプランティション	関光	24	川崎北	川崎工苑建設(株)	本多研一
6	緑・南	(株)サカタのタネ	星野公英	25	横須賀	(有)神金造園	高橋裕幸
7	緑・北	(株)大和園	田代章生	26	横須賀	(株)森崎ガーデン	石原宏行
8	緑・北	(株)倉本造園	倉本澄夫	27	湘南東	平川造園土木(株)	国友義久
9	神奈川	一造園土木(株)	小山田輝蔵	28	湘南東	湖南造園(株)	犬山清史
10	旭	(有)鶴松植木	前田薫	29	湘南東	(株)やまなか園建設	増田正成
11	旭	(株)泰山園	高橋卓	30	湘南西	(株)足柄グリーンサービス	関野秀則
12	保土ヶ谷	ニホンターフメンテナンズ(株)	小川武雄	31	湘南西	(株)東開造園土木	岡部一郎
13	瀬谷	堀江造園(株)	堀江伸吾	32	湘南西	(株)木村植物園	岩崎智
14	戸塚	生駒造園土木(株)	増田一志	33	湘南中央	吉川産業(株)	吉川誠
15	戸塚	(株)きたむら園	北村善輝	34	湘南中央	(株)佐野造園土木	佐野洋
16	戸塚	石井造園(株)	石井直樹	35	県央	(株)庭司苑	飯島正一
17	戸塚	日産クリエイティブサービス	須山光隆	36	県央	(株)難波造園	澤田圭吾
18	金沢磯子	横浜緑地(株)	樋熊浩明	37	県央	日本シーダー(株)	中本雅幸
19	横浜南	横浜植木(株)	横野央	38	県北	(有)泰成緑地建設	小菅泰浩

◎…チームリーダー ○…サブリーダー



ポット苗の植え付け



発行所  
 社団法人  
 神奈川県造園業協会  
 横浜市中区常盤町2-10  
 伸光ビル2階〒231-0014  
 電話 (045) 662-8793  
 662-1767  
 FAX (045) 662-4381  
 年間購読料 3,150円  
 (郵送料を含む)  
 ただし会員の購読料は会費に含まれています。



<http://www.kanagawazoen.or.jp>



# 社団法人神奈川県造園業協会 第三十八回通常総会開催



会長表彰

その後「みどり」を創り、育てる集いが盛大に開催されました。

その後「みどり」を創り、育てる集いが盛大に開催されました。

ついで、第六号議案一般社団法人移行に伴う定款変更(案)が提出され質疑応答の後、議決されました。

ついで、第六号議案一般社団法人移行に伴う定款変更(案)が提出され質疑応答の後、議決されました。

第三十八回(社)神奈川県造園業協会通常総会が五月十八日ホテル横浜ガーデンに於いて出席者百八十七名委任状二百五十一名のもと開催されました。渡邊副会長の司会で始まり石川副会長の開会の言葉、岸本和好会長挨拶の後に第三十六回会長表彰が行われ、技能功労者二十三名を代表して(有)植定渡部定男様、優秀技能者二十九名を代表して早坂緑化(株)早坂清昭様、青年優秀技能者七名を代表して(株)植藤内藤綱一様に記念品、表彰状が岸本会長より授与されました。次いで、第三号議案平成二十四年度事業計画(案)が一括審議され、満場一致で承認されました。次いで、第五号議案平成二十五年度暫定予算の理事会一任について審議され満場一致で承認されました。



岸本会長挨拶

本日は、ご多用の中多数の会員の皆様にご出席いただき、平素から協会の事業運営に多大なご支援とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。さて、本年度も協会発展のため、各支部長を中心に会員の絆を深め、いろいろな行事や事業に参加していただき、一致団結して厳しい状況を乗り越えて進みたい。経済・業界環境が厳しさを増す中、業界が持続的に発展していくには次の会員の皆様にご出席いただき、平素から協会の事業運営に多大なご支援とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。さて、本年度も協会発展のため、各支部長を中心に会員の絆を深め、いろいろな行事や事業に参加していただき、一致団結して厳しい状況を乗り越えて進みたい。経済・業界環境が厳しさを増す中、業界が持続的に発展していくには次の会員の皆様にご出席いただき、平素から協会の事業運営に多大なご支援とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

## 会長挨拶

### 次代を担う人材への技術継承が急務

岸本 和好

五月十八日第三十六回通常総会がホテル横浜ガーデンで開催されました。土志田総務委員長の司会で始まり、田澤副支部長の開会の言葉、山田支部長挨拶の後、支部規定により山田支部長が議長に選出され、第一号議案平成二十三年度会務報告及び事業報告、第二号議案平成二十三年度収支決算報告が一括審議され満場一致で承認されました。続いて、第三号議案平成二十四年度事業計画(案)第四号議案、平成二十四年度収支予算(案)が一括審議され満場一致で承認、次いで第五号議案総会議決事項の委任について満場一致で承認されました。第六号議案任期満了に伴う役員選任について、支部規定により役員が選任されました。

## (一社)日本造園建設業協会神奈川支部 第三十六回通常総会開催

### 山田支部長挨拶



山田支部長挨拶

今年度は、▽街路樹選定技術の調査研究▽街路樹剪定士実技試験の開催▽造園技術・入札制度などの各種講習会の開催▽神奈川県出先事務所との震災対策訓練と工事安全パトロール参画・協力などの事業を実施してまいりますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。

街路樹剪定士の資格認定事業を重点的に進めてきて、今では全国最多の有資格者を誇る県となっています。広く県民に街路樹の重要性と必要性を認識してもらうため、また、街路樹剪定士の有効活用を図るため街路樹フォトコンテストで、今回から街路樹剪定優秀賞を選定しました。

### 一般社団法人 日本造園建設協会 神奈川支部 役員

役職名	氏名	会社名
支部長	山田 康 博	(株)サカタのタネ
副支部長	岡田 茂 樹	湘南造園(株)
〃	田澤 重 幸	(株)田澤園
常任幹事	高橋 更 一	小島造園(株)
〃	田口 正 昭	(株)田口園芸
〃	渡邊 宣 昭	横浜植木(株)
幹事	内田 卓 弘	(株)内田造園
〃	大澤 清 男	南武造園建設(株)
〃	富田 改	(株)湘南グリーンサービス
〃	土志田 淳	横浜庭苑(株)
〃	藤巻 慎 司	藤造園建設(株)
〃	増田 一 志	生駒造園土木(株)
〃	目代 久 典	川崎工苑建設(株)
〃	矢部 均	(株)三橋緑化興業
監事	木村 義 広	(株)木村植物園
〃	野村 直 樹	奈良造園土木(株)



# 「神奈川のみどりを創り、育てる」集い開催

第三十八回神奈川県造園業協会通常総会・第三十六回日本造園建設業協会神奈川県支部通常総会終了後、「かながわのみどりを創り、育てる」集いが開催されました。

神奈川県造園業協会岸本会長の挨拶に続き、日本造園建設業協会神奈川県支部の役員改選により再任された山田支部長・岡田・田澤副支部長が紹介され、代表して山田支部長より挨拶がありました。

続いて、来賓としてご臨席いただいた黒川雅夫神奈川県副知事より、皆様方には、日頃から都市公園の整備や緑地の保全など本県のみどり行政に對してご理解、ご協力をいただいております。厚くお礼申し上げます。

また、協会の皆様方が造園技術の研鑽に努められ、私どもの進める住みよい県土づくりにご尽力いただけてきたことに深く敬意を表します。

さて、県ではこの三月に新たな総合計画である「かながわブランドデザイン」を策定しました。この計画は、確実に到来する超高齢化社会等への十分な対応を図るとともに、

東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故に起因する社会環境の変化への対応を行うため、「いのち輝くマグネット神奈川」を実現する」を基本理念に掲げ神奈川の将来像や政策の基本方向をまとめたものです。

例えば、「災害に強く安全で安心してくらせるまちづくり」を柱としたし、また、災害発生時の避難地となる県立公園や都市計画道路の計画的な整備を進めることとしております。

また、「人を引き付ける魅力ある地域づくり」を柱といたしまして、都市部の緑地や三浦半島国営公園の誘致等「都市の緑の保全と活用」にも取り組んでまいります。

次に、間もなく開催される「みどりの祭典」がながわ未来の森づくり「二〇一二」についてご案内致します。

これは、平成二十二年に本県で開催した第六十一回全国植樹祭を記念して県民の皆様との協同による森林づくりを推進していくため、五月二十七日の日曜日に南足柄市の全国植樹祭のお手植え会場において行うものです。

今回は公募いたしました四百名の参加者の皆さんによる植樹のほか、白井貴子さんのミニライブや近くの水源林を散策しながら森林について学ぶ水源林探訪等を行う予定です。

最後に、「神奈川県造園業協会」及び「日本造園建設業協会神奈川県支部」の益々のご発展と、本日のお集まりの皆様のご健勝を心から祈念いたしますとの挨拶があり、次いで神奈川県造園業協会を代表して持田文男神奈川県議会議長の挨拶に続き、みどり議員連盟の出席者の紹介と、松田良昭神奈川県議会議長より議員連盟会長より力強い励ましと支援の挨拶をいただきました。



黒川神奈川県副知事挨拶



神奈川県議会みどり議員連盟 松田会長挨拶



持田神奈川県議会議長挨拶

植樹祭開催に当たっては、皆様をはじめとした本県のみどり行政に関係する方々にご協力をいただきましたが、その際に広くアピールした「神奈川県森林再生五十年構想」の実現に向け今後この祭典を隔年で開催していく予定です。こうしたイベントや「かながわブランドデザイン」へ取り組んでいくことによりまして黒岩知事のもと活力と魅力あふれた県土の形成とみどりの確保に努めてまいります。皆様方の優れた技術と豊富な知識・

ついで、県幹部職員、関係団体の来賓紹介に続き、池守典行公益財団法人神奈川県公園協会理事長の乾杯の発声で和やかな懇談会となりました。



蛭田議長挨拶

## 神奈川県造園業協同組合 平成二十四年 通常総会開催

神奈川県造園業協同組合通常総会が五月十八日、ホテル横浜ガーデンに於いて開催されました。

蛭田議長のもと、第一議案平成二十三年度会務報告及び事業報告が一括審議され満場一致で承認されました。

続いて、第二号議案平成二十三年度決算報告及び監査報告が一括審議され満場一致で承認されました。

次いで、第三号平成二十四年度事業計画(案)、第四号議案平成二十四年度予算(案)が一括審議され満場一致承認されました。

次いで、第五号議案横浜傷害火災(株)代表取締役小倉均の保険料流用の処理(案)について審議され、種々議論の後承認されました。次いで、懇親会が行われ和やかなひとときとなりました。



# 「みどり行政に関する要望書」 〜六項目〜提出



意見交換

神奈川県造園業協会と日本造園建設業協会神奈川県支部共同で、七月十日に自由民主党神奈川県支部連合会・自由民主党神奈川県議団へ次の六項目について要望した。

要望事項として、①景気・環境対策として、また、計画的な社会資本の整備保全や災害への対応のためにも防災公園の設置等緑化関連公共事業の予算の確保・増加と受注機会の確保②都市公園の整備や既存都市公園の再整備、緑地の保全、緑化の積極的推進③三浦半島地域への国営公園の誘致活動の積極的な推進④公園・緑地及び道路、河川、港湾、住宅施設等のうち造園に関する整備及び維持工事は地域の実情に応じて分離し特定建設業者である造園専門業者に発注を、また、発注にあつては公共工事の品質工事の品質確保を図るため工事実績、造園に関する各種資格所有者の技術力等の評価⑤一般社団法人日本造園建設業協会認定の街路樹剪定士の積極的活用⑥校庭及び園庭の芝生化の推進を図るための助成措置と芝生化工事及び維持管理工事の造園工事専門業者への発注⑦不正行為の防止と不良不適合

業者を排除するため業務実態調査の強化と調査結果の入札制度への反映について、造園業界の大変厳しい現状をふまえて要望事項の実現に向けて強く申し入れた。  
ヒアリングの中で校庭芝生化の取組み状況と課題及び県立高校校庭芝生化の現状、また、街路樹剪定の実情と街路樹剪定モデル箇所等について論議された。



要望書提出

# 庭守講習会 「石材加工と刃物研ぎ」

平成24年6月10日、都筑JAにおいて、今年度としては2回目の庭守講習を行いました。

今回は自分たちで設計した課題に沿って延段や蹲踞を作る予定でしたが、入梅直後ということもあり前日の準備段階から降り続いた雨で会場がぬかるんで使えないと判断し、予定を変更して「石材加工道具の使い方」と「刃物研ぎ」についての講習となりました。

予想に反して朝からよく晴れて暑い陽気でしたが、「雨降りに室内で出来る作業」の一例として意義のある講習になったと思います。  
講師は石造物に造詣の深い川田造園の川田秀一氏です。

まず午前中は「石材加工道具の使い方」について学びました。シート一面に並べられた道具の名称と使い方の説明を受け、その後それらを実際に使って石材の加工に各自挑戦しました。



石材加工道具の使い方



石材加工道具の種類

セツトウの打撃面は焼きが入った面とそうでない面とがあり、使い分けが必要なことなど、中には高価な道具もあるのが正しい使い方から学びます。セツトウと合わせて使うコヤスケも用途によって大きさや形が異なり、より良い加工をするためには何種類か必要だと知りました。鑿(ノミ)

もまた種類が多く先に超硬合金(タンガロイ)が付けられているものから文字彫り用の先ノミまで大小様々です。炭素鋼製のナマノミは仕事前に焼き入れをして使うそう、タンガロイが無かった時代の職人は大変だったろうと想像させられます。  
これらの道具を使って実際に石材を加工してみます。用意して戴いた白御影の石板や短冊石をこぶ出しやビシャン、小叩きなどに仕上げるグループ、丹波石や鉄平石を加工して石貼りするグループ、水鉢を彫り込むグループなどに分かれて作業します。水鉢は川田さんが春日灯籠の笠を裏返して



こぶ出し作業



鉄平石を加工した石貼り



水鉢の彫込み





刃物研ぎの実践



手入れの行き届いた刃物

彫った加工途中の題材を持って来てくださり、「みかん彫り」という奥行きに丸みを持たせる水鉢の彫り方に倣って小さいノミと小ぶりのセツトウで彫り進めて行きます。セツトウがちよつとでも淵に当たれば全てが台無しになつてしまうため緊張しながら数人が交代で根気よく作業していました。

午後からは「刃研ぎ」

の講習です。ずらつと並べられた川田講師の鋏や鉋の美しいこと。一見でその切れ味が想像できる手入れの行き届いた道具ばかりです。「刺身も切れる包丁で調理する」とおいしい。庭木だつて切れ味の悪い鋏で切られた方が嬉しいに決まっています。川田さんの仕事に対する信念が伝わってきます。

持参した刈り込み鋏や木鋏を各々が研ぎ出します。剪定鋏や鎌などの曲線的な刃物は細かい砥石を使って研ぎます。割れた砥石なども捨てずに取っておくものだと思います。他の仲間が使っている道具にも興味湧き、情報交換にも花が咲いていました。

「刃物を研ぐことは、自分を研ぎ澄ますこと。道具の手入れは怠るな。」との川田さんの言葉は今さらながら心に響きました。

実作業の予定を変更したにも関わらず晴れてしまいちよつともつたない一日になってしまいました。雨が降りや手待ちの時に十分活かせる講習であり、どちらの内容も自ら実践して積み重ねていくべき課題です。一回の講習で「なるほど」と言つて終わらせることなく、日々の研鑽に繋げて行きたいものです。

情報委員長 木下 透

## 病害虫防除講習会 開催 安全で適正使用を心がける大切さ

当協会と神奈川県農業技術センター病害虫防除部・神奈川県植木連合会と共催で二十四年度第一回目の病害虫防除講習会を実施しました。

第一回目は、七月四日かながわ県民活動サポートホールに於いて実施され百五十五(会員七十名、行政十九名、その他六十一名)が参加し、講習会は、約二時間半に亘り「農業の適正使用と安全管理」について農業技術センター病害虫防除部副技術官伊藤部有氏より、「住宅地における公園・街路樹等の防除技術」について(社)緑の安全推進協会千野義彦氏より事例を示しながら講義されました。

この講習会は、農業散布時の人に対する健康や周辺住民・環境への安全性確保の大切さについて発注する側の行政と受注する造園関係事業所が認識を共有し、円滑な病害虫防除を図ることを目的とした重要な講習会です。出席者には、当日各自に「修了証」が渡されました。

第二回目は、平成二十五年二月一日神奈川県平塚合同庁舎に於いて実施する計画で現在受講希望者を募集しています。申込希望者は協会にお問い合わせください。

なお、詳細は神造協ホームページに掲載しております。



完成品の前で記念写真

## 「第五回かながわ街路樹フォトコンテスト」表彰式開催

(一社) 日本造園建設業協会神奈川県支部主催の「第五回かながわ街路樹フォトコンテスト」表彰式が五月十八日、ホテル横浜ガーデンで催されました。

今回で五回目を数え、応募総数二〇七点、新設された「街路樹選定優秀賞」に十二点の応募がありました。

藤井英二郎千葉大学教授、大河原雅彦元神奈川新聞写真部長、山田支部長の審査員により最優秀賞・優秀賞各一点、入選五点、佳作十点、特別賞として神奈川県知事賞、神奈川県議会議長賞、街路樹選定優秀賞等二十作品が選定され、表彰式では、大河原審査委員より各賞の講評が延べられ、続いて表彰式に移り、山田支部長より、「新緑まぶしい散歩道」最優秀賞を

石井清一氏、「秋を惜しむ」優秀賞を室井義雄氏に、引き続き各賞に賞状と賞金が授与されました。

石井氏の作品は、「みずみずしいほどの新緑の美しさ」と、緑の濃淡の変化を望遠気味のレンズで捉え、樹木の根元を覆う植え込みの新緑も効果的」と選評されました。

今回から新設された「街路樹剪定優秀賞」には、生駒造園土木(株)の「銀杏並木」が選ばれ、「剪定技術は樹高の統一・枝の

後援を得て「第六回かながわ街路樹フォトコンテスト」の作品を募集しておりますので多数の応募をお待ちしております。

構成・綺麗に形づくられた樹形線等切断位置と切り方が適切で、樹形剪定モデルといえる」との講評を得ました。

今年も、国土交通省関東地方整備局横浜並びに相武国道事務所、神奈川県・横浜市・川崎市・神奈川県新聞社、テレビ神奈川、NHK横浜放送局の後援を得て「第六回かながわ街路樹フォトコンテスト」の作品を募集しておりますので多数の応募をお待ちしております。



山田支部長表彰状授与



▲街路樹剪定優秀賞  
「銀杏並木」(生駒造園土木(株))



▲最優秀賞  
「新緑まぶしい散歩道」(石井 清一)





# 平成二十四年度 造園技能士実技講習会・実技検定試験・学科講習会開催

## 実技講習会

七月二十日から二十三日迄の4日間横浜農協きた地区営農経済センターに於いて開催されました。一級六十名、二級四十五名、三級一名が受講し、九名の指導員の熱心な指導を受け大汗をかきながら一生懸命取り組んでいました。また、要素模擬試験では試験結果に一喜一憂し、要素の解説には真剣に耳と目を傾けていました。

今年も熱中症対策として途中十五分の休憩をとり、また、受講者に塩アメを配布しました。



【1級指導風景】



【会場設営】



【1級指導風景】



【2級指導風景】



【要素模擬テスト】

## 実技検定試験

七月二十八日から三十日迄三日間実技検定試験が行われました。

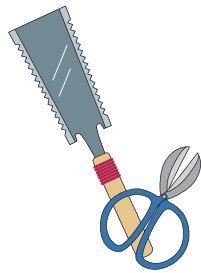
今年の検定受験者は、一級八十二名、二級一二八名、三級七十六名計二八七名で検定員・補佐員の見守る中、これまでの研鑽と日頃培った技を發揮すべく講習会から一転の猛暑の中、一心不乱に作業に取り組んでいました。

今年も猛暑の中四名が緊張と熱中症でリタイアしましたが、昨年と異なり救急車の出勤まで至りませんでした。

協会の一大事業である実技講習会、検定実技試験、学科講習会に携わっている関係者の皆様のご尽力とご苦勞に感謝申し上げます。



【1級受検風景】



【2級受検風景】



【2級受検風景】



【1級受検風景】



【1・2級学科講習会】

## 一・二級造園技能士学科講習会を開催

八月七日かながわ労働プラザに於いて一・二級造園技能士学科講習会を教育研修委員四人の講師により午前・午後にわたり教本造園施工必携とサブテキストを基に熱心に講義が行われ一級三十六名、二級二十四名計六十名の受講生が真剣にメモを取っていました。



【3級受検風景】



# 支部だより

## 視察研修会報告

鶴見支部 情報委員

前田 陽介

四月十五日から四月十六日にかけて、鶴見支部では毎年の恒例行事である、視察研修会を行いました。

今年支部賛助会員四名、青年部二名、会員十四名、計二十名にて、群馬

県安中市磯辺温泉へ、栃木県日光市を經由し、向かいました。

まずは日光山輪王寺へ、あいにく本堂(三仏堂)は、平成大修理と称する改修工事中でしたが、本堂前庭にある金剛桜(平成六年、

栃木名木百選に指定)は、

老齢化による衰弱がある為、平成十年より回復治療を行っているとのこと

でしたが、桜自身の生命力、治療のかいあってか、五月初旬に開花を迎える金剛桜は、つぼみを少しづつ膨らまし、子孫繁栄を心待ちにしているかのようでした。

また、輪王寺門跡の庭園として、江戸時代初期に作庭された逍遙園は、小堀遠州作と伝えられる池泉回遊式で、大池は琵琶湖の近江八景を模している

そうです。(※逍遙園は幾度か改修されており、その名ものちに付けられたという説もあります。)

特徴的な

修景物として、「なまず石」と称する

石があり、当時、琵琶湖より生きたまま

を運ぶことが困難な為、大池脇に石

で表現し、据えられたそうです。

また、燈籠や蹲にも美しく苔が乗り、心安らぐ

妙義神社にて

車中から眺める渡良瀬川は、ありのままの自然で、徐々に芽生えはじめた新緑も美しく、その姿は雄大でした。宿泊先では、懇親の席を設け、より一層の親睦を深める事ができました。二日目は、群馬県富岡市妙義山の主峰、白雲山にある妙義神社へ向かいました。壇上で根を張るしだけ桜は満開を迎え、芝付きより下へ流れる枝はしなやかに、滝口より系落ちする花びらの滝のようでした。妙義神社を後に、市内



逍遙園

庭園でした。輪王寺を後にし、渡良瀬川沿いを走るわたらせ渓谷鉄道に乗り、栃木県足尾駅から群馬県大間々駅へ向かいました。

糸場、埼玉県小江戸川越の土蔵づくりの街並みを見学し、帰路に着きました。

今回の研修会を安全に進行していただきました当協会賛助会員、スバル観光(株)様、(株)ドリムワールド様、また、支部

賛助会員として毎年ご協力いただいたおります(株)磯ヶ谷商店

様、加藤産商(株)様、(有)中山造園資材様、(株)万年屋様、ありがとうございました。

園資材様、(株)万年屋様、あり

がとうございま



逍遙園 灯籠



逍遙園 なまず石



逍遙園 蹲



なつかしいポストも健在 足尾駅

## 京都庭園見学会

金沢 磯子支部

大胡 隆典

金沢・磯子支部では、去る四月二十一日、二十二日、「春の陽気に誘われて、今、草木萌ゆる京都へ！」と題し、庭園見学会に行つて来ました。

例年、春に日帰りの見学会を催しておりますが、今回は、支部青年部十周年の記念も兼ね、一泊の宿泊研修となりました。

最初の見学地は、洛北鷹ヶ峰の「しょうざん庭園」でした。支部会員の御紹介により、長年こちらの庭園の管理をなさっている方が、案内をして下さいました。しょうざんは、台杉

で有名な庭園ですが、台杉やモミジの手入れについて、柴原と白杉の見分け方、仕立て具合などの説明を頂きました。また、お茶室の軒下(通常は、三和土の部分)陶器タイルが使われている点や、スギ苔の管理、園内の石材など、参加者からの質問にも細かく答えて頂き、大変勉強になりました。

続いて、御室桜の咲く真言宗御室派総本山仁和寺に参りました。やや満開を過ぎてはいましたが、根上がりで丈の低い桜の林は、まさに花の散り際の美しさを表していました。古くから「洛中洛外にて第一」と謳われた桜の名所で、当日も大変な人出でした。私自

身は花の時期の仁和寺は初めてでしたが、足元を見れば無数の花びらが、さながら水に漂う花筏のように、見上げれば、空にそびえ立つ五重塔が桜花の上に浮かび、都の春に包まれた一時を過ごす事が出来ました。余談ですが、この御室桜は、地中に粘土質の層があり、根圏を制限されている為に、背丈が高くならないそうです。境内は、他にも多品種、多数の桜や満開の三つ葉躑躅に彩られていました。

初日の最後は、並河靖之七宝記念館へ伺いました。こちらの庭は、七代目小川治兵衛の作で、琵琶湖疏水を初めて個人邸に引いたとされる池が特徴の一つです。その池の中の石が、建物の束石になっており、池の上に建物張り出す形になっていたり、縁先の一文

字の手水鉢が立てた石の上に高く据えられていたり、はたまた、応接室へ上がる沓脱ぎは膳所城の櫓石と言われる二本の長く巨大なものであったりと、広くは無い豪快な演出が見てとれま

した。現在は手前の橋から先は立ち入り出来ませんが、三か所に有る滝口と二か所の橋、それに沢飛びと池の縁を廻ることで、池の深淺と共に、移り変わる景色を見られるのでしよう。ただ、亀や蛙の添景物がやたらと多く、石灯籠なども後年に増やされたのでは無いかと思われ、少々うるさく感じました。

二日目は、支部会員の御縁により、臨濟宗和尚・西田承元師に御案内を頂き、一般公開をしていない寺院の見学をする機会に恵まれました。

午前中の見学地、臨濟宗



しょうざん庭園 北山台杉の景



### ●会員名簿の変更● (平成24年度名簿)

会員名簿の訂正は今回名簿を作成しますので、そちらをご覧ください。

#### 支部・住所変更

- 県央支部→相模原支部  
 (有)堀内造園 (会員名簿P.67)  
 〒252-0245 相模原市中央区田名塩田2-22-24  
 Tel 042-711-9503 Fax 042-711-9553

#### 代表者変更

- 港北支部  
 (株)植宗エクステリア (会員名簿P.28)  
 代表者 高澤正比古 → 小野田謙三

- 緑・東支部  
 (株)山田富士組 (会員名簿P.31)  
 代表者 男全由治 → 男全恵己

- 戸塚支部  
 鈴木農園 (会員名簿P.43)  
 代表者 鈴木信次郎 → 鈴木幸子

- 金沢・磯子支部  
 西武造園(株)神奈川支店 (会員名簿P.45)  
 代表者 赤土正浩 → 寺崎俊司

#### 代表者・住所変更

- 賛助会員  
 (株)日本トリム東京支店 (会員名簿P.74)  
 代表者 植木芳雄 → 西谷由実  
 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-25-7  
 KSKビル本館4階  
 Tel 03-3537-1611 Fax 03-3537-1615

#### TEL番号変更

- 旭支部  
 柏木園芸 (会員名簿P.37)  
 Tel 045-363-1236

## 事務局情報

(月間行事一覧)  
●諸会議その他●

8/3 (金)	公園緑地部会
8/7 (火)	技能検定学科講習会 (かながわ労働プラザ)
8/19 (日)	技能検定要素試験 (横浜市立大学金沢八景キャンパス)
8/28 (火)	公園緑地部会経営研修委員会
8/29 (水)	公園緑地部会くすのき保育園園庭整備
9/4 (火)	情報委員会 県域青年部会
9/5 (水)	街路樹剪定士更新講習会(日造協神奈川県支部)
9/10 (月)	協同組合事業承継・相続セミナー (あいおいニッセイ同和横浜支店)
9/13 (木)	公園緑地部会
9/20 (木)	刈払機取扱安全教育講習会 (横浜スポーツ科学センター)
9/26 (水)	よこはま技能まつり出典協議
10/3 (水)	JA 秋季持寄り品評会審査会 (JA 植木せり市場)
10/9 (金)	川崎南・北支部合同植木供養祭 (川崎大師平間寺)
10/14 (日)	第33回よこはま技能祭り (横浜公園)
10/19 (金)	関東甲信造園建設業協会協議会 (栃木県宇都宮市)



霊鑑寺の枯山水庭園 灯籠は般若寺形

南禅寺派の門蹟尼寺である霊鑑寺は、明治維新まで代々、皇女が住職を務めたそうです。春と秋の一週間以外は、非公開となっています。当日は、生憎の雨となりましたが、苔の色も鮮やかで、もみじの枝先の新緑も一層やわらかに感じました。鹿ヶ谷は京都の街中よりも涼しく、境内には後水尾上皇御遺愛の日光椿はじめ、散り椿などの名木が、名残りの花を咲かせていました。お庭は江戸時代の作。主庭は、向かって左の枯滝より細い枯池が続き、池の向こうに妙法院宮ゆかりの般若寺型灯籠が立っています。しとしと落ちる雨の音の他は、何も聞こえない古刹の空気に包まれ、室内から拝見する景色は、額に入った一幅の絵画の様です。こちらで、昼食を取らせて頂きましたが、周りに有る襖絵が、狩野永徳・狩

野元信・丸山応挙、観光寺院なら当然レプリカですが、ここには、他人は入れないので全て本物、緊張感のある御食事でした。次は鹿苑寺に伺いました。金閣寺として、国内外に知られる名刹です。入ったすぐの左側にイチイガシの巨木が二本有り、昔は二本の間を抜ける方向に参道があったと、教えて頂きました。庫裏から上がり、平成十九年の解体修理の際に新作された石踊達哉、森田りえ子両氏の杉戸絵を見ながら方丈を進みます。緑青の色も鮮やかで、木地もうぶなままですが、時を経た後、どのような変貌を見せてくれるのでしょうか。広縁から相阿弥作といわれる前庭、後水尾天皇御手植の胡蝶佐介、陸舟の松などを拝見しました。大書院の襖絵は、かつて伊藤若冲のものでしたが、現在は、加藤

東一画伯の水墨画が入っています。重厚な台杉や、薄墨桜に圧倒されます。二の間三の間の襖をあけると、日輪図月輪図が重なり、お堂の奥行きも相まって宇宙の拡がりを感じさせるようです。表へ出て園路を歩きます。通常の見学コースでは、池と方丈の間を金閣に向かいますが、今回は左側へ池の畔を回らせて頂きました。降り続いていた小雨も上がり、名前の通り鏡のような鏡湖池にはつきりと「逆さ金閣」が、煌びやかな姿で浮かびます。葦原島には、表・中・裏と三組の三尊石組が有り、今回は南側から裏の石組も見ることが出来ました。池には大小10の島が浮かんでおり、池の縁を進むにつれ様々な景色を見せてくれました。

旅の終わりに枯山水庭園として名高い大徳寺大仙院へ行きました。開祖古岳宗宣禅師による室町時代の作で、蓬萊山から流れ出た水が、大海に至るまでを表現しているといわれています。ご存知の通り、とても有名で、且つ解り易い。切り立った滝石組は、あくまでも荒々しく、宝船は誰が見ても船の形の石です。そして、大海と言われる方丈前庭の庭は、向かって左に一对の盛り砂、右端に一本の沙羅双樹が有るのみです。禅寺らしい凛とした空間の緊張感と古よりゆつたりと流れる時を感じました。



鹿苑寺にて 金閣を背景にして集合

## Bridal Banquet Stay Restaurant



〒231-0023 横浜市中区山下町254番地

お問合せ 045-641-1311

http://www.yokohamagarden.jp

